

「防災力」と「地域力」を向上させるための北九州市の課題

2004. 7. 12

イコス環境・色彩研究所
山口ひろこ

地域力とコミュニティのエンパワーメント

宮西悠司氏は、神戸市真野地区のまちづくりに長期にわたって関わった経験から、「まちづくりとは『地域力を高める運動』として包括的にとらえるべきだ」と指摘する。宮西氏によれば、地域力には次の三つの要素がある。

一つは地域資源の蓄積力であり、地域には良しにつけ悪しきにつけハードな環境条件とソフトな地域組織や住民の活動などの資源がある。二つめは地域の自治力であり、地域課題の解決を住民に共通する問題としてとらえ、それを地域の組織的対応(住民の連帯)の中で解決するという意識と行動である。三つめは地域への関心力で、常に地域の環境に関心を持ち可能性のあるなら向上していこうとする意欲で、地域に関心を持ち定住していこうとする気持がまちづくりにつながる。これは参加意識といいかえることができるだろう。

この地域力という概念は、本稿のテーマと共鳴するものが多いように思われる。我々がコミュニティのエンパワーメントというとき、個人や地域・コミュニティの持っている潜在力を引き出し、潜在力が活躍できる条件・環境をつくっていくことであると定義できるだろう。潜在力だけでは不十分で、力を活かす条件が整ってはじめてエンパワーメントといえるのである。その結果、地域の自己決定力を高めていくことが可能となる。宮西氏の指摘する地域力には、地域資源とともに自治力、関心力＝参加意識という動的な要因が含まれていることに注意を払いたい。つまり、地域力を引き出すには、地域の構成員の主体的な関わりと連帯(組織性)が必要であって、むしろこれらの具体化にエンパワーメントの課題が凝縮されていると考えられる。

コミュニティにとって、潜在力を現実の力として顕現させる条件・環境を整えること。これは、社会の「装置」の問題である。

(資料 『市政研究 冬月号』～地域からの都市づくり～ 直田 春夫)

地域力を向上させる取り組み例 ①

平成14年度防災功労者内閣総理大臣表彰受賞

震災疎開パッケージ

阪神淡路大震災は
怖がったね!!
もしあんな災害が
最近に起きたら
どうしよう!?

**年間5000円で
万が一の時**

避難地域への避難、安心の地域生活を確保!

【制度内容】

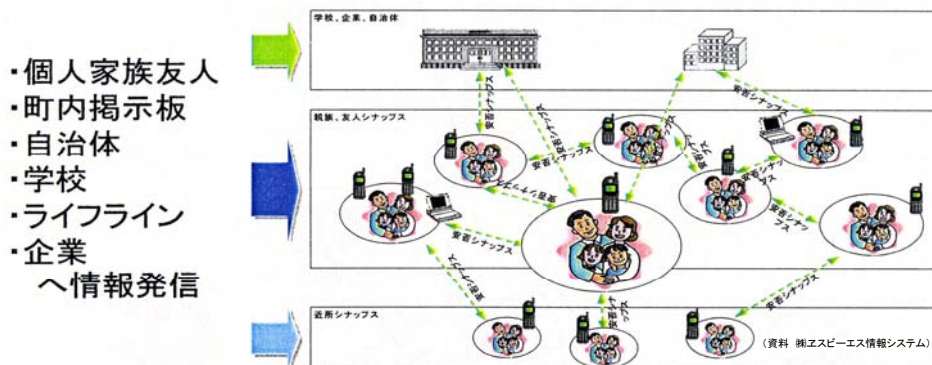
運営主体：全国商店街震災対策連絡協議会
 実施地域：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田7丁目2番11号
 募集対象：全世帯（被災経験者・被災経験者以外）
 募集対象期間：1月1日から12月31日まで（申込締め切り：申込加入期限）
 募集開始時期：1998年、震災発生後、被災経験者以外の方の加入を促進
 募集費用助成：中学生以上1人につき30万円相当（申込費・経費などで削減した分返還）
 対象年齢：小学生以下1人につき10万円相当（申込費・経費などで削減した分返還）
 代 理 店：中学生以上2000円（税込）
 小学生以下2000円（税込）（ご所属する商店街に相談）
 申込期間：1998年10月1日～2000年3月31日

もし震災がなかったら、
全国各社にお届けします。

全国商店街震災対策連絡協議会
 情報提供 <http://www.shoutengai-sinsai.com/>

地域力を向上させる取り組み例 ②

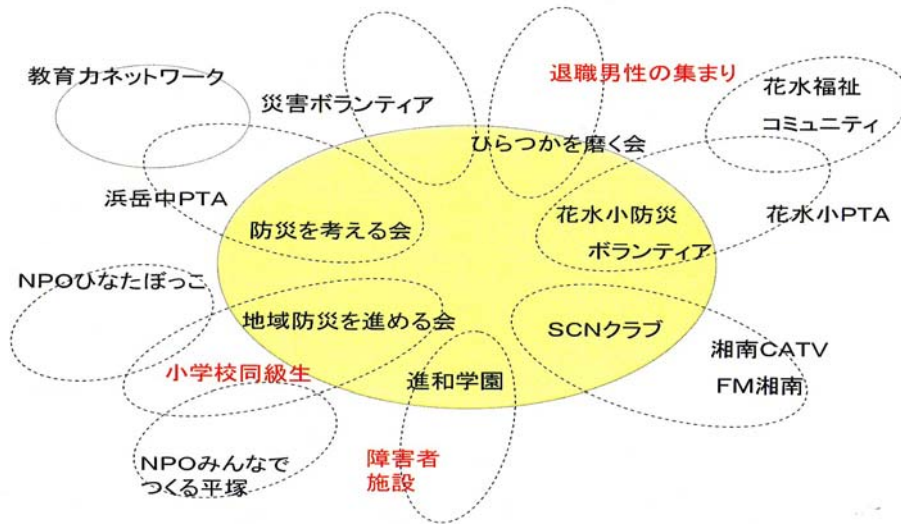
人間関係に基づいた連絡網の構築



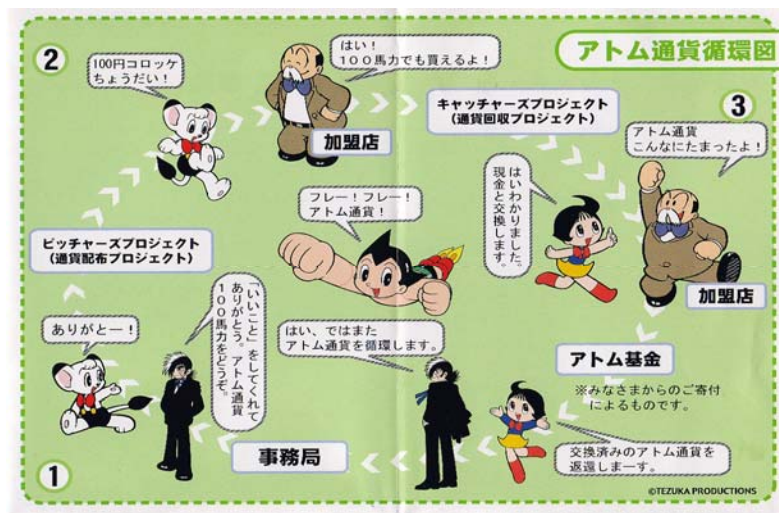
- <通常のメーリングリストとの違い>
- ・一般の連絡網と違い、一つの動作ですべての登録者に向けて発信できる
 - ・個人の持つ地域、企業、学校のデータ連絡網に活かすことができる
 - ・通常時の連絡網としても利用できる 例：学級・クラブ活動連絡網 等
 - ・災害時、登録者の住所（近所シナプス）を利用し、近所への救援を求めることができる

地域力を向上させる取り組み例 ③

ひらつか防災まちづくりの会とは？

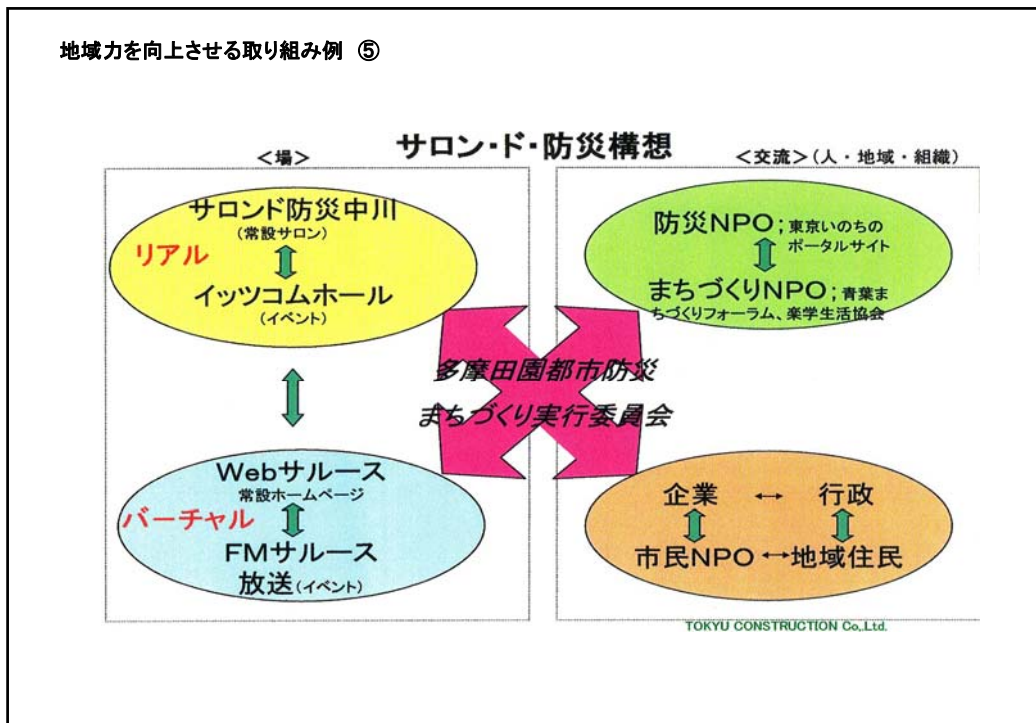


地域力を向上させる取り組み例 ④

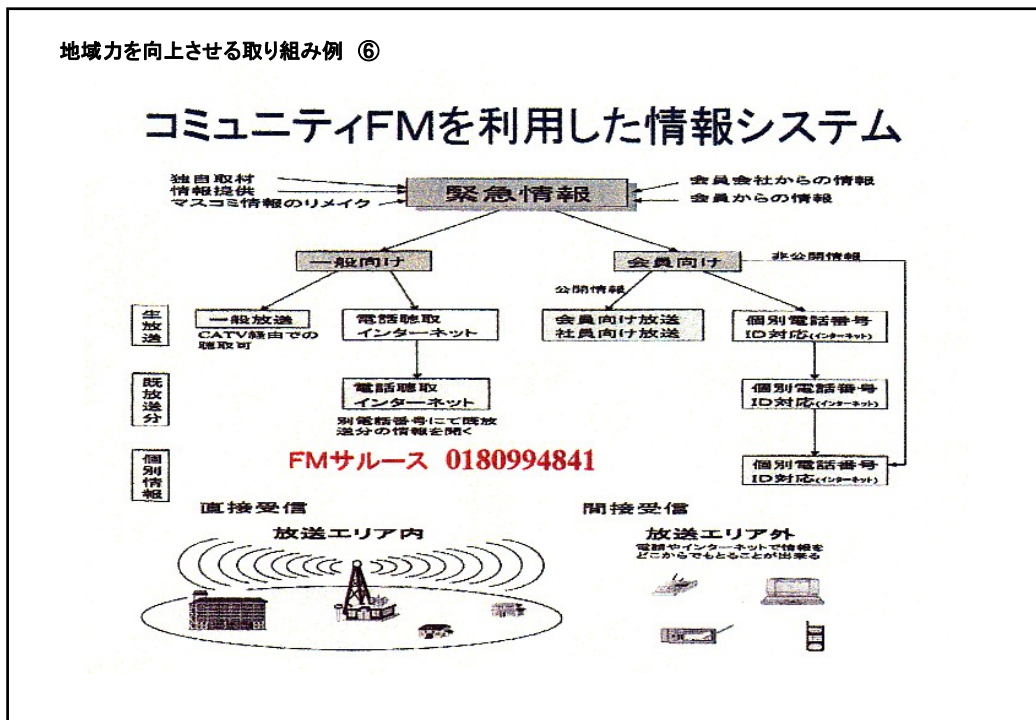


アトム通貨実行委員会発行リーフレットより

地域力を向上させる取り組み例 ⑤



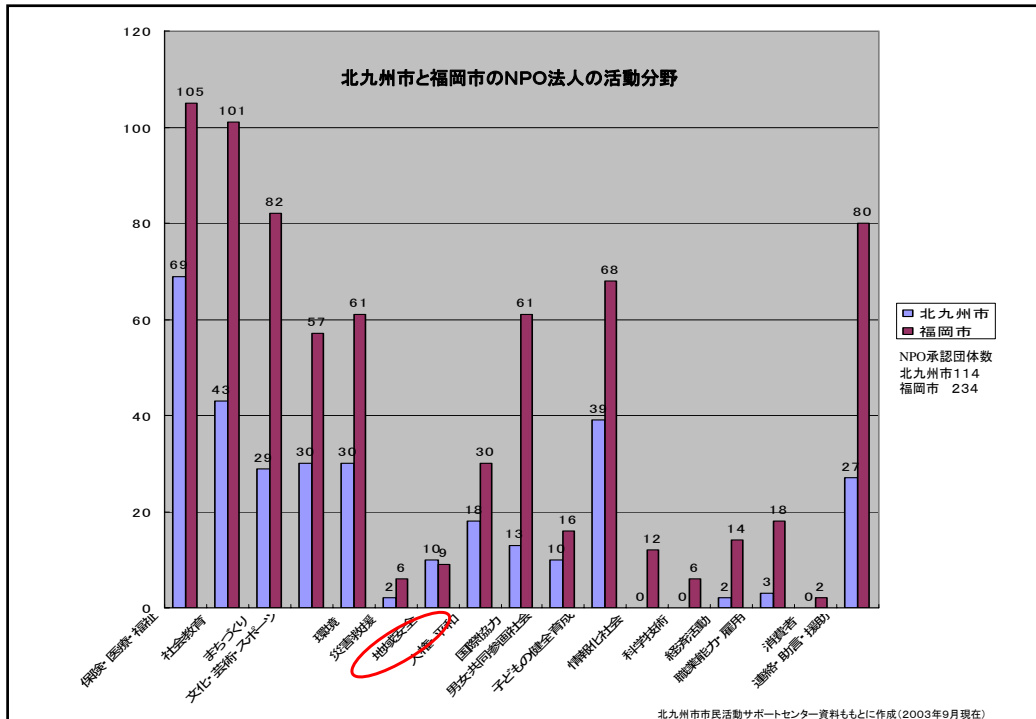
地域力を向上させる取り組み例 ⑥



地域防災力・危機管理能力の自己評価

(消防庁まとめ)

	総合点	順位		総合点	順位		総合点	順位		総合点	順位
北海道	26.9	46	東京都	69.4	1	滋賀県	39.2	29	香川県	28.3	45
青森県	43.0	23	神奈川県	52.3	12	京都府	43.4	22	愛媛県	40.3	26
岩手県	32.6	40	新潟県	45.5	17	大阪府	52.4	11	高知県	31.6	42
宮城県	45.2	18	富山県	53.8	10	兵庫県	54.8	7	福岡県	39.6	28
秋田県	33.0	39	石川県	66.5	3	奈良県	38.7	32	佐賀県	45	21
山形県	30.2	43	福井県	35.8	35	和歌山県	48.0	13	長崎県	29.9	44
福島県	65.0	4	山梨県	40.7	25	鳥取県	41.7	24	熊本県	34.2	37
茨城県	45.2	19	長野県	54.4	8	島根県	34.7	36	大分県	36.3	34
栃木県	56.1	6	岐阜県	47.4	15	岡山県	34.1	38	宮崎県	46.5	16
群馬県	25.7	47	静岡県	56.5	5	広島県	31.9	41	鹿児島県	45	20
埼玉県	69.1	2	愛知県	39.9	27	山口県	53.8	9	沖縄県	39.1	30
千葉県	39.0	31	三重県	47.9	14	徳島県	37.3	33	平均	43.5	



北九州市で6月に各家庭に配布された資料



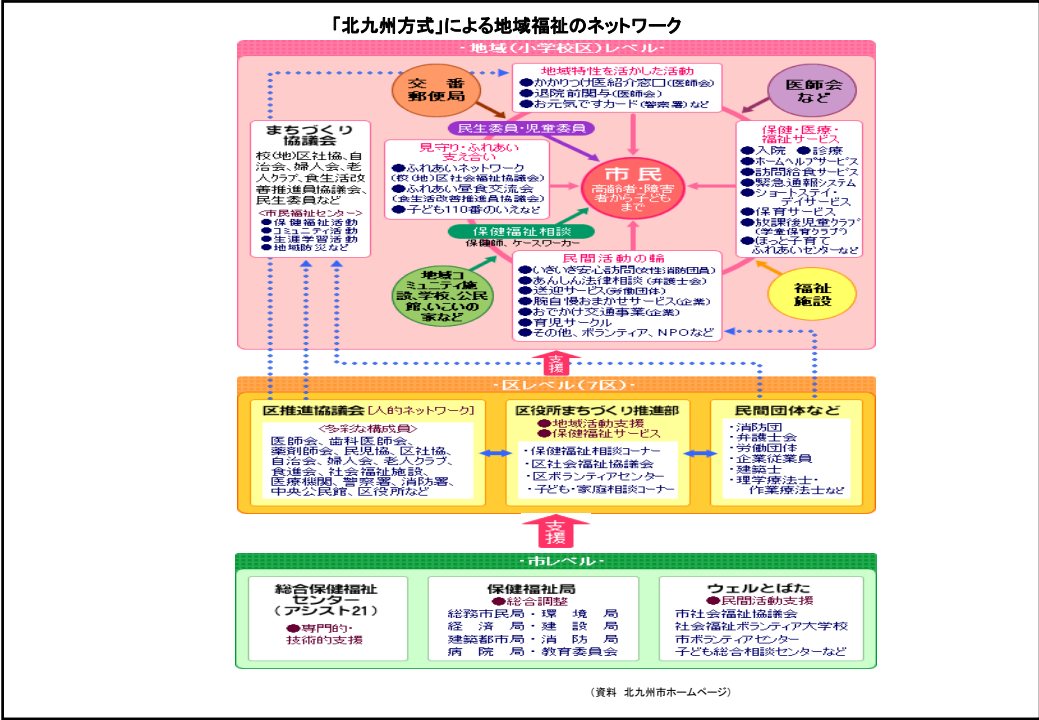
北九州市の高齢化について

『高齢化』の問題が叫ばれるようになって既に数年が経ち、全国的に『高齢社会対策』が行われています。北九州市では、保険・医療・福祉・地域が連携しながら、高齢者やその家族等、援護の必要な方を地域で支え合うまちづくりに取り組んでおり、今日では『北九州方式』と呼ばれています。その中で北九州医師会では、平成12年4月より導入された『介護保険』を含めた、『高齢社会対策』を会の重点項目の1つとして関係機関との連携を図りながらさまざまな活動をしています。北九州の高齢化率は約18.9%です。

(資料 北九州医師会ホームページ)

名高い北九州方式

元気老人も、困った老人もいる高齢化社会への対策では、北九州市は民生委員らによる地域での見守りと市の行政、また福祉、保健、医療のつながりが実にスムーズな知る人ぞ知る先端の福祉都市である。そのシステムは北九州方式と呼ばれる、独自の3層構造からなっている。各小学校校区に市民福祉センター、その上に、市7か所にある区役所内に設けられた保健福祉センター、全市を統括する場として小倉北区の医療センター横の保健福祉センターである。当初、各区役所にある保険福祉センターに総合窓口を設け、福祉制度に精通しているケースワーカーと医療や介護のプロである保健婦が、相談内容に応じて一緒にすばやく行動したのが、北九州方式の始まりであった。縦割り行政という、これまでの常識を打ち破ったこのシステムは大きな成果を生んだ。



北九州市民環境パスポート事業について

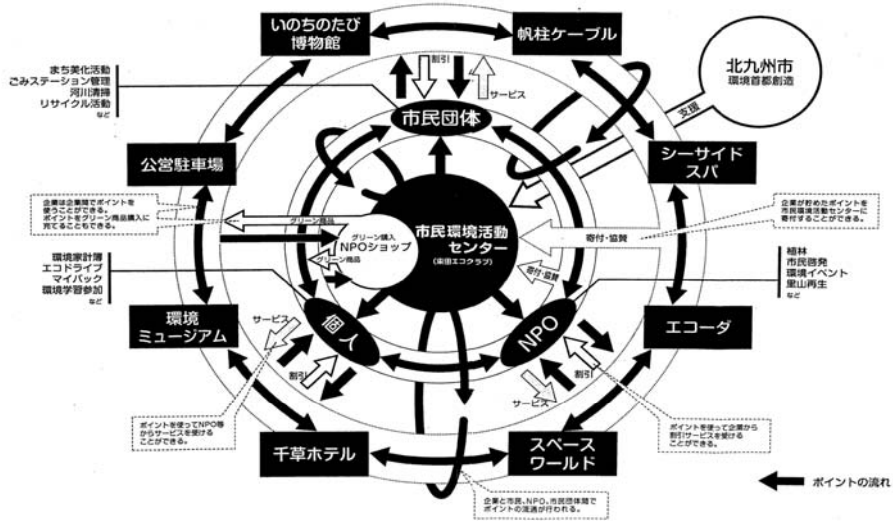
1. 事業の趣旨・目的

北九州市は、環境の世紀といわれる21世紀における街づくりのあり方を示すべく、市政の機軸として「環境」を据えた環境首都づくりに取り組んでいる。

この取組みの賛否は、市民、企業、NPO等のあらゆる主体が、如何に主体的にこの取組みに参加し、全市的なムーブメントを起こすことができるかが鍵を握っている。一方、従来の啓発等の施策では限界があり、あらゆる主体が一本にまとまって、誰でも楽しく参加でき、またそれが相乗効果をもたらす仕組みが必要である。この仕組みとして、**全市統一のルールの下で電子エコマネー制度を創設し**、このルールを通じて市民皆が環境首都づくりに主体的に取り組む社会づくりを図っていくものである。

課題：北九州市のこれからの取り組みに「防災」の視点を

北九州市民環境バス ポート事業(案)
東田地区における実証実験時の例



パスポート事業の仕組み

➡①ポイントの入口

- ・市民地域活動
まちな美化、ゴミステーション管理、河川清掃、リサイクル活動等
- ・NPO、市民団体等環境貢献活動
里山の再生、植林、市民啓発等
- ・消費生活における省エネ、省資源活動
環境家計簿、エコドライブ、E3ガソリン利用、マイバッグ、簡易包装等
- ・環境学習参加 等

②ポイントの出口 ➡

- ・公共料金の減免
公共施設入場・利用(博物館入場料、会議室利用料)、公共駐車場 等
- ・三セク公共交通割引
帆柱ケーブル等
- ・民間施設利用割引
スペースワールド(テーマパーク)、シーサイドスパ(温泉施設)、ホテル利用
エコショップエコータ 等
- ・北九州市リサイクルプラザ(再生家具販売)
- ・NPOショップ(グリーン商品引き換え)
ごみ指定袋、環境活動用品、各種グリーン商品等
- ・環境企業PR(企業ポイント対象)

○ITの活用方策

- ・従来**定性的**であった**環境活動**をITの活用により**ポイント**という形で**定量化**を図ると同時に、市域全体の**環境活動のマネージメント**を行う。
- ・ITの活用により、**環境活動の効果等の情報**を**楽しく市民等に提供する**。
- ・情報センターに蓄積されたデータの解析により、環境政策の検証を行い、改善を図る。
- ・IT活用の具体例として、利用者は**携帯電話や住基カードを含むICカード等を利用して、本人確認やポイントの受払いを行うこと**などを想定している。

○期待される地域再生効果

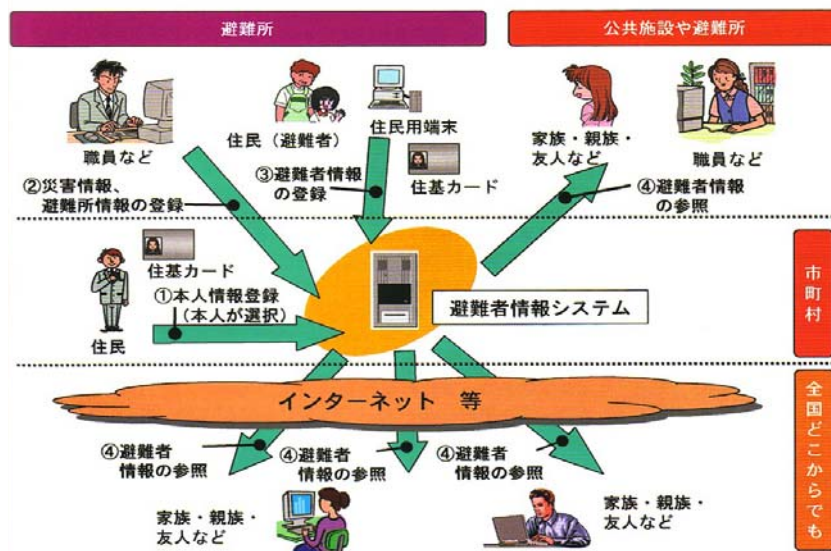
本事業により、世界の環境首都づくりを市民、産業界、行政が一体的に取り組んでいく仕組が整備されることとなり、環境活動に主体的に参加する市民・NPO・企業等が格段に増加し、その結果、ごみの軽減・リサイクル、環境商品の流通等の資源循環型社会の実現、二酸化炭素排出の削減等地球の視野からの環境対策が格段に進むことはもとより、**地域活性化**という面からも、**環境コミュニティビジネス、企業の環境ビジネス等の創出による経済的効果、雇用創出**が生まれてくる。

また、自治会活動等**地域コミュニティの活性化**にもつながるものである。

○民間団体との調整状況

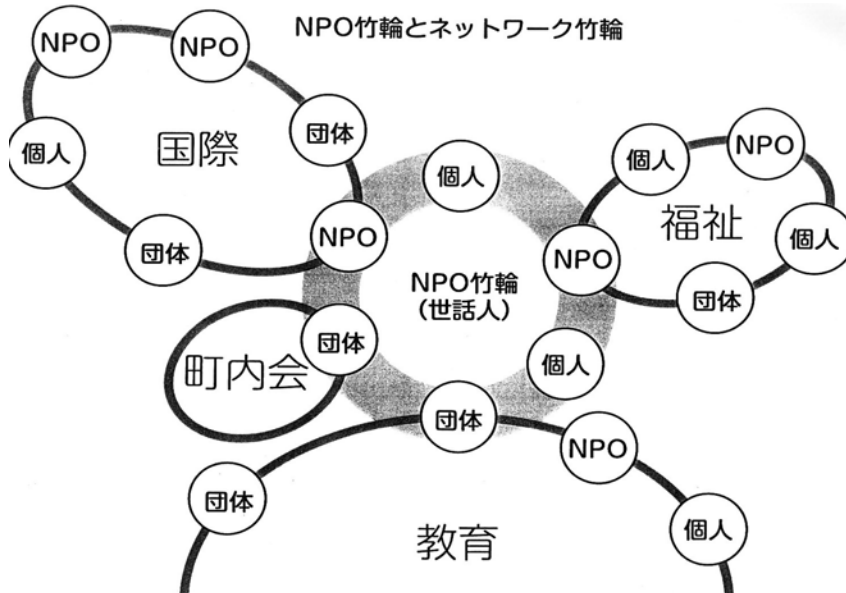
- ・市民環境活動センターについては、運営を担うNPO組織設立のために、複数のNPOが参加する協議組織が立ち上がったところである。
- ・ポイントの受け渡しをする民間企業は、別紙に掲げる企業は了解が得られたところであるが、すでに、これとは別にスーパーマーケット等へ参加を呼びかけを行っており、参加のための協議が進められている。

住基カードを利用した避難者情報サービスについて



(資料 (財)地方自治情報センター)

北九州市のNPOの新たなネットワーク例



課題: 北九州市に地域メディアを増やす

地域内、地域間コミュニケーションのためのメディアの必要性

九州においては人口130万の福岡市に次ぐ100万都市、北九州市。しかし、昨今、残念ながら人の流れは福岡市へと向かいがちで、北九州市の持つ本来のパワーが発揮されていないような気がします。

北九州市としての情報発信がまだまだ不足している点、また、地域内、地域間のコミュニケーション不足により「北九州市」としての一体感の形成が未だ途中にあるという点が挙げられます。

既存のテレビ局やラジオ局が取り上げる話題は専ら福岡市に集中。情報が各地から人を呼び、街のにぎわいを創造しています。北九州からも情報発信は行っていますが、結果として取り上げられるボリュームは福岡(博多)に偏っています。

また、北九州市は1963年、5市が合併して誕生したわけですが、既に40年経過しているにもかかわらず、未だに行政としての「市」と、商圈・カルチャーとしての『旧市』(小倉・門司・若松・戸畑・八幡)が存在しています。

各地域の間でコミュニケーションが活発に行われていて5つの旧市の個性がさらに発揮され北九州市としてのパワーが増すという構造になっているかという点とまだまだ課題があると言わざるを得ません。

地域の活性化に市民の力が不可欠なのはいうまでもなく、その活性化には創造性を生み出す「人」、そして人と人の多様なつながりを活かす「場」(プラットフォーム)や課題を共有できるステークホルダーとしての「場」が必要で、北九州市の場合、さまざまな形で「場」が市民から生まれてくることが望まれます。

ネットワークが広がる時、そこには必ず「場」としての地域メディアが存在します。北九州市民が自らの手で創造する地域メディアの誕生が今後期待されます。

コミュニティ放送局とは

市町村の一部の地域で、地域に密着した情報を提供するために、平成4年に制度化された超短波(FM)による放送局です。FM波を使うため『コミュニティFM放送局』とも言い、カーラジオやFMラジオ受信機で聞くことができます。

地域に密着した情報、急を要する情報(災害・事故等)の発信拠点として、豊かで安全な街づくりに貢献することを目的とし、総務大臣の許可を受けて開局、運営します。

県全域をカバーする既存の音楽中心のラジオ局とは存在意識が異なるものです。

コミュニティFM放送局は、平成4年に開局した函館市の『FMいるか』が第一号で、その後各地で開局がなされ、平成15年末現在で全国に167局あります。

毎日新聞

2004年(平成16年)6月4日(金曜日)

北九州

北九州シティFM 免許申請を受理

市内初のコミュニティ放送局誕生へ

九州総合通信局は3日、小倉北に設置されるコミュニティFM放送局の免許申請を受理した。今秋に、市内初のコミュニティFM放送局が誕生する予定だ。

申請したのは、株式会社北九州シティFM。社長は入道、副社長は佐藤。放送局の免許申請を受理したことに伴って、北九州

市内の放送局は、FM放送局とAM放送局の2種類がある。FM放送局は、申請を受理した北九州シティFMが、市内初のコミュニティFM放送局となる。AM放送局は、FM放送局と異なり、放送局の免許申請を受理した北九州シティFMが、市内初のコミュニティFM放送局となる。AM放送局は、FM放送局と異なり、放送局の免許申請を受理した北九州シティFMが、市内初のコミュニティFM放送局となる。

29 2004年(平成16年)6月4日 金曜日

2004年(平成16年)6月4日 金曜日

北九州

北九州シティFMが、市内初のコミュニティFM放送局となる。AM放送局は、FM放送局と異なり、放送局の免許申請を受理した北九州シティFMが、市内初のコミュニティFM放送局となる。AM放送局は、FM放送局と異なり、放送局の免許申請を受理した北九州シティFMが、市内初のコミュニティFM放送局となる。



1996-2004 CS神戸の目指す地域ビジョンイメージより

北九州市での市民活動にも加えたい